

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2024年7月1日

日蓮正宗 年間方針

折伏前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

講中一結・万難を排して

折伏実践

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で歡喜の活動

根本を欠かさず家族

そろって弛まず実践

② 講中一結して折伏実践

「異体同心」・「師弟相對」

の信心で

広宣流布に邁進

③ 支部総登山と寺院参詣  
で人材育成

死身弘法の決意と歡喜

の生活・切磋琢磨

しながら家庭訪問

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池 6075-1

(電話番号：0561-54-9226)

相談無料 <https://hohenji.net/>

2024年6月9日 御報恩御講・創立記念史弘法会



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

## ① 講中のみなさまへ「人として生まれた感謝と信心」

人は「あたりまえ」と思っていることが幾重にもある。「有難し」の心持がなければ感謝の心、知恩・報恩の念は到底なくなる。私たちが忘れていた最第一は、人として生まれてきたこと、生きているということである。大聖人は仰せになった。「人身は受けがたし、爪の上の土。人身は持ちがたし、草の上の露。」(御書 1173)と。妙法の信仰に励み、仏法の原理を知っていくならば、「人間に生まれたばかりに」などという不知恩の言葉は出てこない。まず感謝すべきは人として生まれた事実である。これを忘却しなければ人としての原点を踏み外すことはない。そして家族も他人をも大切にできる。人と生まれて大聖人の仏法を知った自分があり、人として生まれたからこそ人を妙法の功德の中に導く自分になれるのである。「心の財第一なり」(同頁)の人生を歩んでまいろう。

## ② 創価学会に籍を置くみなさまへ

(創価学会破門の経緯を知ろう その47 最終総括)

創価学会が宗門から破門となった経緯は「通告書」の通りであるが、総括を以下に述べる次第である。平成2年以降、創価学会は本来の存立目的から大きく逸脱して、御法主上人および日蓮正宗をあらゆる手段を用いて攻撃し、本宗伝統の血脈相伝による下種仏法、化儀化法、信仰にも著しく背反した。日蓮正宗は、創価学会に対して再三にわたり教導したが、創価学会はこれを無視し、一片の反省もないまま、ますます宗門に対し誹謗・攻撃をなし、平成3年11月、ついに日蓮正宗から破門された。これによって創価学会は、日蓮大聖人の仏法から離れ、日蓮正宗の信徒団体ではなくなった。正法の血脈も流れ通わなくなり、御本尊の功德も顕われなくなったのである。特にニセの御本尊を勝手に作成している大罪は看過できることではない。このような創価学会に所属するかぎり成仏は絶対はない。自身や家族の幸福と成仏のため、日蓮正宗寺院に詣でて、僧侶の話を聞くべきである。

(次号より創価学会関連の掲載はありません)